

令和7年度 「新しい東北」復興・創生の星顕彰 候補者推薦募集

被災地の課題解決に挑戦する個人や団体の推薦を募集
優れた取組を復興大臣が顕彰します



推薦期間：令和7年4月25日（金）～6月24日（火）

推薦要項

一趣旨一

復興庁では、復興を単なる原状復帰にとどめるのではなく、震災を契機として、従来から被災地が抱えてきた課題を克服し、地方創生のモデルとなる「新しい東北」を創造すべく、民間の人材・ノウハウ等を最大限活用しながら、様々な取組を進めています。

この一環として、「新しい東北」の創造に向けた取組について、大きな貢献をされている個人及び団体の活動を広く情報発信するとともに、被災地内外への普及・展開を図るために平成28年度から顕彰を行っています。

一推薦方法一

自薦・他薦の候補の取組について所定のフォームにご記入いただき、メールまたは郵送にてお送りください。

推薦記入フォームのダウンロードはこちらから
https://www.newtohoku.org/kenshou/R7suisen/file/suisen_r7.pptx

一顕彰の発表と顕彰式一

外部有識者から構成される選定委員会にて受賞者の選考を行い、結果を令和7年12月に発表予定です。

その後、実施予定の顕彰式にて、受賞者に復興大臣より賞状と盾が授与されます。

一推薦期間一

令和7年4月25日（金）～6月24日（火）
※資料を郵送される場合は6月24日（火）必着

一送付先(問い合わせ先)一

復興庁 復興知見班
住所：100-0013 東京都千代田区霞が関3-1-1
中央合同庁舎4号館10階
TEL：03-6328-0270
メールアドレス：hoshikensho.r7@fukko.go.jp

一推薦対象一

推薦対象は、「新しい東北」の創造に向けて、被災地の地域課題（震災伝承、教訓継承、被災者支援、住まいとまちの復興、協働、産業・生業の再生等）を克服するために取り組む個人・団体とします。若年層による新しい取組についても積極的な推薦をお待ちしています。

被災地の地域課題への取組（例）

- 震災時の記憶と教訓を継承し、復興に係るノウハウとして地域内外に広く情報を発信する取組
- 子どもや高齢者を含めた被災者の交流会の実施、災害公営住宅等における自治会活動の支援
- 防災集団移転事業の移転元地における賑わい創出の取組
- 産業の転換や新しい市場・価値を創造する取組
- 雇用創出や若者の就業・後継者育成を推進する取組
- 避難指示解除区域への帰還等に向けた生活環境整備への取組

※ なお、応募者が法令違反の容疑により逮捕され、又は逮捕を経ないで公訴を提起された場合などの不正又は不誠実な行為があった場合は表彰の対象としないことがあります。また、暴力団員（暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律（平成3年 法律第77号）第2条第6号に規定する暴力団員をいう。）の者が関与している取組、暴力団の維持もしくは運営に協力し、もしくは関与する取組は、審査対象から除外します。またその旨の連絡もしませんので御承ください。

一推薦者の条件一

（1）推薦される個人・団体は、次の事項を満たしている必要があります。

- ア 個人・団体は、少なくとも直近1年間（令和6年7月～令和7年6月）において、課題に取り組むべく活動を行っており、今後も継続して活動していく予定にしていること。
- イ ある取組に対し、複数の個人・団体が関与している場合、当該取組において、推薦する個人・団体が中心的役割を果たしていること。
- ウ 個人・団体は、過去に復興庁が主催する表彰・顕彰（「新しい東北」復興・創生顕彰、「新しい東北」復興・創生の星顕彰、「新しい東北」復興ビジネスコンテスト、「産業復興事例」顕彰等）により、表彰・顕彰されていないこと。
- エ 個人・団体は、国・地方公共団体及びその職員ではないこと。

（2）推薦される個人・団体の取組は、次の事項を満たしている必要があります。

- ア 東日本大震災または東京電力福島第一原発事故をきっかけとして発生した課題への取組であること。
- イ 施設整備等のいわゆるハード面の取組でないこと。

一選定方法一

運営事務局で一次選考を行った後、外部有識者から構成される選定委員会にて二次選考を行い、受賞者を決定します。選考は原則、提出書類による書面審査としますが、必要に応じて電話等で内容の確認をさせていただく場合があります。受賞者には、応募の際に登録されたメールアドレス等にご連絡します。

一選定基準一

- ・取組内容については、以下の2つの分野を設定します。
A 震災伝承、教訓継承
B 産業・生業の再生、被災者支援、住まいとまちの復興
- ・発災14年が経過した現在、以下の4つの視点を重視します。
① 復興の進捗に応じた課題に対応しているか。
② 自立性・自走性があるか。
③ 全国共通の課題解決に向けた先駆性・応用可能性があるか。
④ 新規性・将来性があるか。
- ・上記2つの分野について、4つの視点から、選定にあたって重視する、対応されている課題やポイントを次のとおり設定して、推薦資料等をもとに総合的に選定します。

	分野A	分野B
視点①	震災伝承活動の担い手の確保 震災伝承活動の資金の確保 震災遺構や伝承施設との連携	水産加工業の振興 観光業の振興 風評対策への取組 福島イノベーションコースト構想の促進 心のケア・コミュニティ形成 移転元地等の活用 帰還等に向けた生活環境整備
視点②	マネジメント体制	マネジメント体制
視点③	地域防災力の向上、他の被災地域等への知見・ノウハウの提供・協力、SDGs、女性活躍	雇用創出、域内循環創出（複数企業の協働化等を含む）、関係人口の拡大、地域との連携・協働、他の被災地域等への知見・ノウハウの提供・協力、SDGs、女性活躍
視点④	新たな取組	新たな取組

一推薦手続一

（1）推薦方法

推薦は、自薦・他薦を問いません。

（2）提出書類等

応募に当たっては、当顕彰WEBサイトまたは別添の候補者推薦フォーム内の必要事項をご記入の上、事業報告書、パンフレット等の取組の内容・状況が把握できる資料を併せてご提出ください（候補者推薦フォームから資料をアップロードしていただくか、資料を事務局（送付先は表面「送付先（お問合せ）」参照）に郵送してください。

■注意事項

- （1）提出書類等は返却しませんので、あらかじめ御承ください。
- （2）本顕彰に関する情報発信の一環として、マスコミ（新聞社、放送局等）に対し、受賞者の個人・団体名、取組内容を情報提供しますので、あらかじめ御承ください。
- （3）顕彰式後、「新しい東北」官民連携推進協議会ポータルサイト（<https://www.newtohoku.org/index.html>）などで、受賞者の取組内容をより詳細に紹介するため、受賞者に対して直接取材を行うことがあります。ご協力をお願いします。
- （4）審査に関する問い合わせには一切応じられません。審査結果は公表をもって代えさせていただきます。

■個人情報の取り扱いについて

推薦の際に候補者推薦フォームに記載された個人情報は、本顕彰の審査及び運営に必要な範囲内で利用し、応募者の同意なく利用目的以外で利用することはありません。また注意事項に定める場合を除き、推薦者及び推薦された個人・団体の同意なく、第三者へ提供することはありません。

令和7年度「新しい東北」復興・創生の星顕彰 推薦記入フォーム

【推薦者について】※自薦の場合もご記入ください

推薦者名		住所	
電話番号		メールアドレス	

【推薦する候補者について】※他薦の場合、推薦者にてわかる項目のみ記入ください。

自薦・他薦	☐ 自薦 ☐ 他薦	他薦の場合、候補者の了解	☐ あり ☐ なし
候補者 個人・法人名		分野	☐ A 震災伝承・教訓継承 ☐ B 産業・生業の再生、被災者支援、住まいとまちの復興
区分	☐ 自治体 ☐ 公共団体・公益法人・財団法人 ☐ 一般社団法人 ☐ 特定非営利活動法人 ☐ 任意団体 ☐ 会社 ☐ 個人 ☐ 学校 ☐ その他		
所在地			
電話番号		メールアドレス	
代表者名		活動開始年	[西暦] 年（追記情報）
復興庁に 係る履歴	表彰歴 [西暦] 年、賞名（ ） 支援事業等活用歴 [西暦] 年、事業名（ ） 事例集等掲載 [西暦] 年、事例集等名（ ）		
その他の表彰 等履歴	表彰歴 [西暦] 年、賞名（ ） その他（ ）		
視点①復興の 進捗に応じた 課題に対応し ているか	対応した課題 分野A： ☐ 震災伝承活動の担い手の確保 ☐ 震災伝承活動の資金の確保 ☐ 震災遺構や伝承施設との連携 ☐ その他（ ） 分野B： ☐ 水産加工業の振興 ☐ 観光業の振興 ☐ 風評対策への取組 ☐ 福島イノベーションコースト構想の促進 ☐ 心のケア・コミュニティ形成 ☐ 移転元地等の活用 ☐ 帰還等に向けた生活環境整備 ☐ その他（ ）		
1.課題	どのような理由で、どのような課題に着目したか（200字程度まで）		
視点③全国共 通の課題解決 に向けた先駆 性・応用性が あるか	分野A： ☐ 地域防災力の向上 ☐ 他の被災地域等への知見・ノウハウの提供・協力 ☐ SDGs ☐ 女性活躍 ☐ その他（ ） 分野B： ☐ 雇用創出 ☐ 域内循環創出（複数企業の協働化等を含む） ☐ 関係人口の拡大 ☐ 地域との連携・協働 ☐ 他の被災地域等への知見・ノウハウの提供・協力 ☐ SDGs ☐ 女性活躍 ☐ その他（ ）		
2.取組内容	取組内容（課題を解決するために、どのような取組を行っているか）（350字程度まで）※数値で示せるものは、可能な限り数値を用いて記載してください。		

視点②団体としての自立性・自走性があるか	分野A：マネジメント体制 ・前年度収入額（ ）円 ※記入は任意です ・活動に携わる人員数（ ）人 分野B：マネジメント体制（産業・生業の再生） ・前年度売上（ ）円 ※記入は任意です ・従業員数（ ）人 分野B：マネジメント体制（被災者支援、住まいとまちの復興） ・前年度収入額（ ）円 ※記入は任意です ・活動に携わる人員（ ）人
3. 主な実績成果	主な実績・成果（200字程度まで） ※開催頻度、参加者数、新規雇用者数等、可能な限り数値を用いて表してください。
視点④新規性・将来性があるか	新たな取組について、その概要（100字程度まで）
4. 今後のビジョン	今後のビジョン（どのようなビジョン（将来像）を描いているか）（150字程度まで）
5. 直近一年の主な活動内容	直近一年の主な活動内容（150字程度まで） ※数値で示せるものは、可能な限り、数値を用いて記載してください。
6. 連携している個人・団体、個人・団体との関係・役割分担等	連携している個人・団体の名称、その個人・団体との関係・役割分担等（150字程度まで）
7. その他のPRポイント	推薦理由、自己PR、その他（100字程度まで）